



# あいちの会 NEWS



## 第40号

発行責任者/北折健次郎 編集/あいちの会NEWS編集委員会

認定NPO法人 あいち骨髓バンクを支援する会 〒464-0006 名古屋市千種区光ヶ丘1-22-7-105

[電話&FAX] 052(712)0457 [E-mail] npoaichi@tj9.so-net.ne.jp [HP] https://www.aichinokai.or.jp/

### あいちの会の今

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、皆様方はいかがお過ごしでしょうか?

あいちの会も、イベントの中止などでブース出展はもとより、献血併行型登録会の活動もなかなか復活しません。ボランティア同士で集まる機会もほとんどなくなり、7月19日にテレビ会議システムを使用してのボランティアミーティングを開催し、近況を話し合いました。テレビ会議では遠方の方も参加することが出来、仕事や家庭の都合でなかなか参加出来ない人も会うことが出来ました。でも、やはり直接会ってワイワイするのが楽しく、ボランティアの醍醐味ではないかと思えます。開催されている多くのイベントも、あいちの会NEWS 39号でもお知らせしたように、多くがリモートやビデオでの出演となり、他団体との交流もままなりません。あいちの会も、はやくこの状況に順応し、「新しい生活様式」に合った活動の仕方を模索していかなければなりません。

愛知県の登録状況については、コロナ禍ではありますが毎月登録者数は増加しています。というのも昨年10月から日本骨髓バンクの契約説明員が献血ルームゲートタワー26、献血ルームタワーズ20、栄献血ルームのいずれかで月曜から金曜まで登録業務を行っています。活動に参加しているのはあいちの会のボランティアとして活動している元患者さん、お二人。お二人とも移植によりお元気になり現在も病氣と闘っている患者さんのため毎日ルームに通っています。愛知県以外ではAkiba:F献血ルーム、ハチ公前献血ルーム、献血ルーム池袋ぶらっと、献血ルーム新宿ギフトでも同様の活動が行われています。コロナ禍で献血併行型ドナー登録会が開催出来ない中、献血やドナー登録にご協力いただけること、感謝の気持ちでいっぱいです。

少しずつ世の中でも収容人数などのいろいろな制限が外れ、そろそろ活動を積極的に始めようと思っていた矢先、11月に入り、全国的にコロナウイルス感染者が再び増加し、またまた足止め状態。とは言え、工夫をすれば出来ることはたくさんあります。名古屋市長主催の「ファーストキフ」、(株)デンソー主催の「ハートフルまつり」などもオンラインで開催。当会も参加、普及啓発活動を行います。間もなく、令和2年も終わり、新しい年を迎えます。令和3年にはコロナも収束し、みんなが笑顔で会えることを願っています。

話は変わりますが、最近、マスコミなどでSDGs(持続可能な開発目標)という言葉が耳にします。当初は私たちの団体では、あまり関係ないのかな?と勘違いしていましたが、「誰一人取り残さない」という言葉がずっと耳に残り取っていました。調べていくうちに、あいちの会も、活動を明確化するために取り組む必要があると感じ始めました。具体的にどのように関わればよいか分からなかったのですが、先日、名古屋市民活動センター主催の「NPOのためのSDGsのはじめかた」～ボランティア活動の一步先をゆく、NPOと企業との協働事業～というセミナーを受講する機会を得て、一から勉強を始めました。キックオフセミナーを受講したあと、3回のワークショップで、最終的にはSDGs実践のアクションプランを制作することを目標に頑張っています。今後はもっと企業との協働を推進し、活動の幅を広げていきたいと思っています。

**NPOのためのSDGsのはじめかた**  
～ボランティア活動の一步先をゆく、NPOと企業との協働事業～

SDGs(持続可能な開発目標)とは、国際連合採択した国際社会共通の持続可能な未来の目標です。  
 持続可能な未来を創るには、経済・社会・環境の3つの柱を軸として、持続可能な開発目標(SDGs)を設定し、それを実現することが必要です。SDGsは、持続可能な開発目標(SDGs)とは、国際連合採択した国際社会共通の持続可能な未来の目標です。持続可能な未来を創るには、経済・社会・環境の3つの柱を軸として、持続可能な開発目標(SDGs)を設定し、それを実現することが必要です。

**キックオフセミナー**  
 2020年10月23日(金) 14:00～16:00  
 対象：市内で活動しているNPO(任意参加)のみなさん  
 内容：SDGsとは何か? NPOとSDGsの関係、NPOの活動とSDGsの関連性について学ぶ。NPOの活動とSDGsの関連性について学ぶ。

**ワークショップ**  
 「NPOのためのSDGsのはじめかた」～ボランティア活動の一步先をゆく、NPOと企業との協働事業～  
 1日目 11月23日(金) 13:00～17:00  
 2日目 11月27日(金) 13:00～17:00  
 3日目 12月11日(金) 13:00～17:00  
 ※3日連続して参加ください。

対象：市内で活動しているNPO(任意参加)のみなさん  
 定員：30名(申込多数の場合は抽選) 無料  
 オンライン(Zoom)による参加も可  
 ※お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。

協賛：名古屋市、NPO(任意参加)のみなさん  
 (任意参加)のみなさん  
 NPO(任意参加)のみなさん  
 NPO(任意参加)のみなさん  
 NPO(任意参加)のみなさん

主催：名古屋市民活動センター  
 共催：あいちの会  
 後援：名古屋市、NPO(任意参加)のみなさん  
 (任意参加)のみなさん  
 NPO(任意参加)のみなさん  
 NPO(任意参加)のみなさん

お問い合わせ：あいちの会事務局  
 TEL: 052-712-0457 FAX: 052-712-0457  
 E-mail: npoaichi@tj9.so-net.ne.jp  
 住所：名古屋市千種区光ヶ丘1-22-7-105

### 持続可能な開発目標SDGsエス・デー・ジーズとは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(外務省HPより)

### あいちの会の取り組み

あいちの会では何に当てはまるのか? 現在続けている活動をリストアップし、10年後の目標設定とそれまでの中間段階を考えてみました。しかしもと設立の経緯が日本に公的骨髓バンクを設立すること発端とし、30年前に日本骨髓バンクが発足した際も、活動目標を設立運動から支援運動に変更しました。私たちは患者さんたちの声を受け止め、その必要性を積極的に世間に知らせて世の中を動かす形で活動しており、その時代その時代によって患者さんが求めるものは異なるため、妊孕性温存(未受精卵子凍結保存)や就労支援などの活動も追加してきました。現在の活動も、10年後には「世間の理解が進み、活動の必要性がなくなる」という形になれば、会の活動(存続)そのものに影響を及ぼすことになります。初心に戻って発足当初の30数年前の会報を見直してみました。「将来的に、白血病が飲み薬1つで治り、骨髓バンクも必要なくなる時代を夢見て…」今骨髓移植を必要としている患者さん全員にドナーが見つかるよう…「私たちの活動が必要なくなるまで…」なんて文言がありました。「白血病の患者の誰一人取り残さない」という当初の活動方針は、SDGsそのものだったのだと、改めて認識することが出来ました。また「将来的に私たちの団体そのものの存在も必要なくなる」のが、自分たちが目指してきた「理想」なんだということを改めて思い出されました。当初も今も足りないところは「アクションプラン」であり、将来消滅するものであったとしても、計画性をもって活動していくことが大切であることも学びつつあります。(北折健次郎)

## CBCラジオ「つボイリヲの聞けば聞くほど」に出演

7月21日(火)、CBCラジオ「つボイリヲの聞けば聞くほど」に出演、スタジオにお邪魔して、骨髓バンクの現状やコロナ禍での活動についてお話しさせていただきました。毎年、久屋大通公園でCBCラジオ夏まつりが開催され、つボイリヲさんが、おまつり会場で聞けば聞くほどの名物「駄菓子屋さん」を出店、売上をあいちの会にご寄付いただきましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で25日(土)、26日(日)に特設サイトからのインターネット配信(一部ラジオ生放送との同時配信)での開催となりました。駄菓子屋さんも出店出来ないことから寄付のお願いも番組でさせていただきました。たくさんリスナーさんや番組スタッフの方に支えられていることを改めて感じた1日でした。ありがとうございました。水谷久美





## 活動報告

2020年7月～11月

会報発送	7月10日	会報発送作業	あいちの会事務所
ボランティアミーティング	7月19日	ボランティアミーティング	あいちの会事務所(Web開催)
普及啓発活動	7月21日	CBCラジオ「つボイノリオの聞けば聞くほど」出演	CBCラジオ
講演会・勉強会等	10月23日	「NPOのためのSDGsのはじめかた」キックオフセミナー	あいちの会事務所(名古屋市主催Web開催)
贈呈式	10月27日	中部ウォーカーソン寄付金目録贈呈式	名古屋国際学園(NIS) 多目的ホール
講演会・勉強会等	11月13日	「NPOのためのSDGsのはじめかた」ワークショップ	あいちの会事務所(名古屋市主催Web開催)
会議・打合せ	11月25日	「ファーストキフ」公募説明会	あいちの会事務所(名古屋市主催Web開催)
講演会・勉強会等	11月27日	「NPOのためのSDGsのはじめかた」ワークショップ	あいちの会事務所(名古屋市主催Web開催)

## ドナー登録会報告

2020年7月～11月

実施日	実施場所	登録者数	実施日	実施場所	登録者数	実施日	実施場所	登録者数
7/2(木)	新城市役所 本庁舎	1	8/12(木)	岡崎市役所	8	10/18(日)	イオンモール大高	2
7/14(火)	尾張旭市役所	4	8/19(木)	犬山市役所	0	10/22(木)	新城市役所 本庁舎	1
7/22(水)	碧南市役所	0	8/23(日)	サマー献血キャンペーン	0	10/25(日)	イオンモール名古屋茶屋	6
7/27(月)	豊明市役所	中止	8/26(水)	ザ・グランドティアラー宮	0	10/28(水)	豊明市役所	2
8/5(木)	官庁街献血	1	9/13(日)	アイ・モール三好	3	10/29(木)	刈谷市役所	2
8/6(木)	官庁街献血	3	9/19(土)	エルエルタウン	0	11/5(木)	アピタ新守山店	7
8/7(金)	官庁街献血	0	10/3(土)	イオンモール大高	3	11/21(土)	ウイングタウン岡崎	4
8/9(日)	アピタ安城南店	1	10/12(月)	名古屋第二赤十字病院	2			

## 献血併行型ドナー登録会の報告

日時：令和2年9月19日(土) 10:00～16:00 場所：エルエルタウン 登録者数：0名

現在はコロナ禍ではありますが、マスクの着用、こまめな手指の消毒、ソーシャルディスタンス確保、配布物の抑制等々を注意して岡崎エルエルタウンの登録会に午後から参加してまいりました。献血の呼びかけは主にライオンズクラブの皆様が行い、バンク登録のお声掛けは、保健所のお二人と私で行いましたが、献血者も従来の半数以下との事、呼びかけやパンフレットの配布などを控えて行ったため思うような活動が出来ませんでした。今後の活動についての思うところは、コロナウィズから新しい生活様式に順応したアフターコロナの活動再開に向けての準備すべき対応は、三密回避策、飛沫防止対策、接触配慮等をデジタル化するなど様々な方法があると感じた1日でした。久野英忠

日時：令和2年10月18日(日) 10:00～16:00 場所：イオンモール大高 登録者数：2名

コロナ禍で久しぶりのルーム外での登録会でした。どのように活動ができるだろうかと不安だらけの中行って参りました。主に、骨髓バンクと献血にご協力していただけるよう呼びかけをしました。そして、献血の受付を待っている方がいれば直接お声かけをして、説明を行いました。呼びかけはマスク着用、説明はマスクとフェイスシールドで行ったのでかなり大きい声を出さないと聞けなかったのもいつもの活動よりも大変でした。お声かけの中で、「前から登録したいと思っていたけれど、家族に言えずに登録できてなかった。これをきっかけに登録したいことを家族に言うようかな。」という方がおられました。実際にお会いして話すことの大事さを改めて実感しました。コロナ禍でもこうやって活動ができるのはありがたいことです。名古屋市職員の皆様の方によると、イオンモール大高に併設する映画館で上映前に骨髓バンクの啓発CMが流れているそうです。10月は骨髓バンク推進月間です。少しでも多くの方にご理解いただき登録に繋がるといいですね。安田真美



日時：令和2年10月25日(日) 10:00～16:00 場所：イオンモール名古屋茶屋 登録者数：7名

2月にルームで活動して以来です。コロナ禍での献血同時登録会ですのでどういふ風に呼び掛けていいのかわからず不安でした。献血の呼び掛けのボードをフェイスシールドのように掲げて呼び掛けしましたが家族連れが多かったため声が届かなかったのか反応は鈍かったです。献血の呼び掛けと献血者さんの様子が伺える場所でお話を聞いていただけそうな方に登録について声がけをしました。次回にという方も含めて5～6人の方の内3人の方が登録して下さいました。また終了間際に二組のご夫婦が登録して下さいました。一組のご夫婦は献血はしたことはないがずっと登録をしたいと思われていたそうで、日赤さんのドナー登録のボードを見て登録にいたりしました。新規ドナー登録数が急激に減少していますのでオンライン登録も有効かも知れませんが実際に献血者さんに声がけして直接説明することの大切さを実感しました。未だに骨髓バンクのドナー登録を臓器提供のドナーと思っている人がいるのに驚きました。だからこそ呼びかけは大切ですね。酒井照子

日時：令和2年11月21日(土) 10:00～16:00 場所：ウイングタウン岡崎 登録者数：4名

ウイングタウン岡崎は映画館も併設する商業施設です。開店と同時に献血車が停まっている近くの入口から入店したら受付がない。あれ?と思ったならスペースの関係で受付は二階でした。受付は二階の某全国チェーンの子供服店の前、映画館の近くで大ヒットアニメの主人公が着る着物と同じ柄のマスクした子連れ親子が多く行き交う場所でした。午前中は岡崎の高校2校が呼び掛けを手伝ってくれて献血する人がひっきりなしでした。午後からはちょっと閑散とする時間が多くなってしまいましたが、全集中で呼び掛けを行うと足を止めて献血してくれる人が多かったです。久しぶりの登録会、感染予防でリーフレットも配布出来ない状態でしたが、献血受付の順番待ちしている人の近くで「献血と一緒に骨髓バンクのドナー登録も出来ます。」と呼び掛けしていたら「骨髓バンクって何?」と。説明後登録して下さいました。黒澤正志



## 寄付者名簿 ～多くの方のご協力に深く感謝申し上げます～ 2020年7月～11月 敬称略・順不同

月	寄付者氏名・団体名	金額	月	寄付者氏名・団体名	金額	月	寄付者氏名・団体名	金額	
7	釘貫亨	30,000	7	原順子	5,000	10	匿名	25,000	
	丹羽哲久	10,000		8	楠本茂		10,000	東海ろうきんNPO寄付システム	38,700
	大脇健司	20,000			東海ろうきんNPO寄付システム		38,400	中神立善	5,000
	岡田春枝	10,000	磯貝弘	5,000	カツノカヅエ		10,000		
	秋田有加里	10,000	東海勤労者互助会	500,000	中部ウォーカーソン		200,000		
	酒井照子	10,000	石栗須代	10,000	11	加藤武彦	10,000		
	東海ろうきんNPO寄付システム	48,100	金澤信哉	10,000		東海ろうきんNPO寄付システム	38,400		
	CBCラジオつボイリオの聞けば聞かばど	33,620	9	東海ろうきんNPO寄付システム		38,400	匿名	500,000	
	太田敏康	50,000		山田重子	30,000				
スギモトユウイチ	5,000	骨髄バンク命(ひかり)応援団		126,000					

## イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

マックスバリュ太閤店	2020年3月～2020年8月	16,500円
------------	-----------------	---------

プリンター用インク・コピー用紙・セロテープの購入に活用させていただきました。

## イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーンとは

毎月11日の「イオン・デー」に、実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくことで、レシート合計の1%分の品物をイオンが各団体に寄贈する取り組みです。(イオンHPから)

## 「第29回中部ウォーカーソン」寄付金目録贈呈式に出席

本年5月に開催されました「第29回中部ウォーカーソン」(在日米国商工会議所中部支部、名古屋国際学園共催)の寄付金目録贈呈式が10月27日(火)、名古屋国際学園にて開催されました。

今年も名古屋国際学園、日本語クラスの高校1年生の皆様が、贈呈式の準備、当日の運営などを行い、日本語と英語の2か国語を使つての司会にも挑戦、「緊張しています」と言いつつもみんなとても素敵な笑顔で進行して下さいました。

総額600万円の寄付は20団体に寄付されました。主催者の皆様、ご協力、ご支援いただいた方々のお力で当会もたくさんのご寄付をいただくことが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

当会のご寄付でTシャツを製作、患者さんやご家族、医療者、ボランティア、関係者の皆様に着用していただき、「つながり」や「絆」を感じていただけたらと思っています。

今年の中部ウォーカーソンはコロナ禍での開催ということでバーチャルで行われました。当日は画面越しではありましたが、多くの方々に活動を知っていただくことが出来ました。贈呈式は、新型コロナウイルス感染予防対策もしっかりして安心して出席することが出来ました。2021年は記念すべき第30回との事、現在のような環境が一日も早く収束し、多くの方々と以前のようにお会いできる事を願っています。

※贈呈式の様子は中部ウォーカーソン公式Facebookでご覧いただけます。(水谷久美)



## ボランティアミーティング

今回のコロナ禍でボランティア活動が制限されボランティア同士の交流もほとんどなくなったため、ボランティアミーティングを7月19日にWebで行いました。テレビ会議システムを初めて使用するボランティアもいて、ちょっと戸惑いがありましたが、やはり元気な顔を見ながら話が出来るといことはとても貴重な機会でした。今後の活動がほとんど皆無の状態であり、あったとしてもWeb開催などのリモートやビデオ出演がメインで、直接対面または参加者への呼びかけ形式のものはほとんどありません。そのような今後の活動がまだはっきり見えない時期でもありましたので、内容的には近況報告とあいちの会の「新しい生活様式」に合せた活動方針などの情報共有に留まりました。

いつもなら、十数人が集まって、お菓子やジュースを飲みながらのワイワイガヤガヤの会議ですが、今回は仕方ありません。しかし、ただ会議をすればいいというのではなく、テレビ会議続きで、実際に人と会い、直接顔を見て、その場の同じ空気を吸って、という「肌感覚」がとても大切であることも学びました。遠方からの参加者も、家庭の都合であり長時間取れない方も参加出来るという意味では大きなメリットはありますが、今後は大きな会議室を借り、ソーシャルディスタンスを保ちながら、ハイブリッド形式での開催が必要であると感じました。

私たちも、まったくITと縁のないところから始め、テレビ会議でボランティア同士の交流を持つことが出来ますが、仲間同士なので突然ホストが落ちたり(いまだにwindows7...),失敗しても許されますが、これを一般まで広げたりとか、これを使って何かイベントとなると、まだまだ機能を十分に使いこなせているわけではなく、改めて資金不足、設備不足、人材不足を感じる機会にもなりました。

それまでは様々な事に勝手に理由を付けて諦めていましたが、本当に自分たちが達成しようとしている社会を実現するためには、改めて広く協力者を呼びかける必要性も感じました。

今回のSDGsのワークショップで勉強し会の活動を見直したことを、会の活動に反映していきたいと思つています。(北折健次郎)





## MONTHLY JMDP から

R2.12.15

[https://www.jmdp.or.jp/about\\_us/publishing/monthlyreport.html](https://www.jmdp.or.jp/about_us/publishing/monthlyreport.html)  
<https://www.jmdp.or.jp/data/>

## 日本骨髄バンクの現状(2020年11月末現在)

	10月	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,116	2,876	531,010	844,639
患者登録者数	226	226	1,838	60,622
移植例数	109(23)	89(17)	—	24,946(1,122)

移植例数( )内は末梢血幹細胞移植の実施数

## ■ 11月年代別ドナー登録者数(現在数)

10代 3,205人  
 20代 83,554人  
 30代 137,851人  
 40代 224,259人  
 50代 82,141人

## ■ 11月の20歳未満の登録者/229人

■ 11月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム/705人、献血併行型集団登録会/2,119人、集団登録会/4人、その他/48人

■ 11月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数: 1,076件 (注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

愛知県	血液センター登録数			移植例数 24,946例、採取数 24,968例			
	11月登録者数	11月取消数	累計	患者居住地	移植数	提供者居住地	採取数
	142	99	21,756	1,495	2,104	1,493	1,813

※採取されたものの移植に至らなかったケース10例と翌月移植予定7件が含まれているため移植数と採取数は一致しません。

## オンラインイベントのお知らせ

## デンソーグループオンラインハートフルまつり

(株)デンソー主催の「デンソーグループハートフルまつり」が今年は新型コロナウイルス感染防止のためオンラインで開催することとなりました。会の活動などを紹介する動画を撮影していただき、2020年12月中頃からの予定でYouTube上で配信されます。詳しい配信日程などが決まりましたらあいちの会ホームページにてお知らせします。

## 社会課題解決推進イベント『ファーストキフ』

名古屋市(市民活動推進センター)主催の「ファーストキフ」も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインを中心とした内容で開催されます。このイベントは地域の市民活動の発展のため、「寄付募集」と「情報発信・市民との交流」の2つの側面に焦点を当てて開催されています。昨年まで行われていたポスターコンテストは「NPO30 秒動画コンテスト」に変わります。今年の「ファーストキフ・ファミリーサーカス」、メインイベントもオンライン開催となります。「ファーストキフ・フェスタ@オンライン」としてファーストキフ用の新たな特設ページ設置、令和3年2月2日(火)～28日(日)行われます。詳しい内容については右記をご覧ください。  
<http://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/fk2020/index.html>

## 事務局だより

コロナ禍、皆様いかがお過ごしですか?

今年2月末頃から、コロナウイルスに敏感になり、活動に参加してもアルコール消毒や体温測定に気を付けるようになりました。その後、オンラインでの患者会やミーティング、イベントに参加するも実際に皆様とお会いすることもなく日々が過ぎていきました。ゴールデンウィークあたりは緊急事態宣言も出て、コロナウイルスに対する恐怖が大きくなっていきました。感染させてはいけない、感染してはいけないと気が休まらない日々が続きました。ストレスから腰痛で動けなくなったり、首が回らなくなったりと体調もスッキリせず、9月中旬には「良性発作性頭位めまい症」という病に罹患し激しいめまいと吐き気で苦しんでいました。めまいは約2ヶ月続き、やっと車の運転も出来るようになったのもつかの間、今だ、めまいと悪戦苦闘しています。実際に現場に向向いての活動はありませんでしたが、事業報告書の作成や提出、認定NPO更新のための書類作成や提出、企業や他団体との連絡や調整、会計など事務局としての作業、オンラインによる会議、ミーティング、セミナー参加など今までとは全く違った一年でした。まだしばらくは落ち着かない日々が続くかとは思いますが、今後も皆様からご意見などいただき、活動を続けていきたいと思っております。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。事務局 水谷久美

あいちの会のHPが新しくなりました。 あいちの会HP: [aichinokai.or.jp](http://aichinokai.or.jp)

## ご寄付のお願い

あいち骨髄バンクを支援する会の活動は皆様の善意に支えられています。いただきましたご寄付は骨髄バンクドナー登録の拡大のため、また血液難病の患者さんやそのご家族のお力になれますよう、大切に使用させていただきます。ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 寄付受付

## | 一般寄付

この会の趣旨に賛同し、継続的にご寄付をしていただける個人、企業及び団体。

## | 賛助会員

※企業及び団体  
 一口30,000円/年  
 ※個人  
 一口10,000円/年

## ボランティアについて

## | ボランティア会員

この会の趣旨に賛同し、運営や活動に直接関わっていただける方。(会費無料)会報や活動報告、イベント案内、骨髄バンクの情報などをお送り致します。



銀行口座  
 三菱UFJ銀行  
 金山支店 普通3654780

郵便振替口座  
 00890-0-76637

あいち骨髄バンクを支援する会は、名古屋市より「認定特定非営利活動法人(認定NPO)」として認められました。これにより、2016年2月2日より当NPOにご寄付頂ける個人・法人の皆さまは、寄付金控除の税法上の優遇措置を受けることが出来るようになりました。(所得税・相続税)

認定特定非営利活動法人  
 あいち骨髄バンクを支援する会